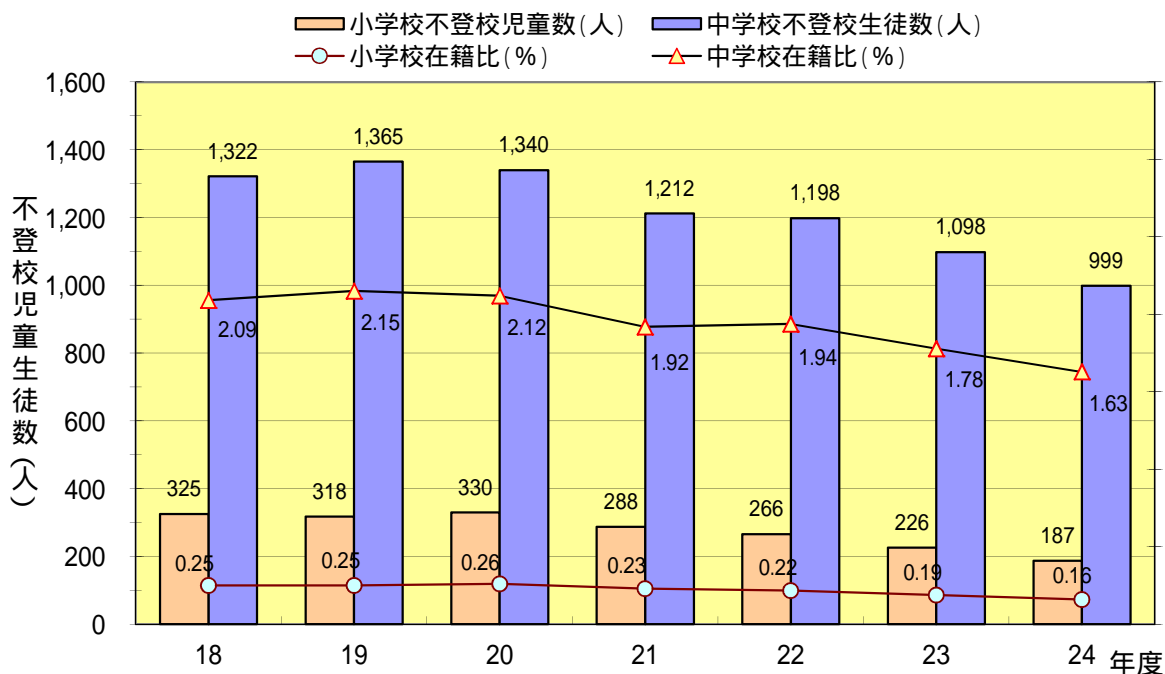


平成24年度上半期児童生徒の不登校の状況について

1 不登校児童生徒数(30日以上)及び在籍比(%)の推移

教学指導課心の支援室



年度	18年度上	19年度上	20年度上	21年度上	22年度上	23年度上	24年度上
小学校	人数(人)	325	318	330	288	266	226
	前年度増減	11	7	12	42	22	40
	在籍比(%)	0.25	0.25	0.26	0.23	0.22	0.19
中学校	人数(人)	1,322	1,365	1,340	1,212	1,198	1,098
	前年度増減	15	43	25	128	14	100
	在籍比(%)	2.09	2.15	2.12	1.92	1.94	1.78
合計	人数(人)	1,647	1,683	1,670	1,500	1,464	1,324
	前年度増減	26	36	13	170	36	140
	在籍比(%)	0.86	0.89	0.88	0.80	0.79	0.73
高等学校	人数(人)	502	439	435	420	465	386
	前年度増減	70	63	4	15	45	79
	在籍比(%)	0.95	0.85	0.86	0.83	0.91	0.77

(注) 1 調査名:「平成24年度上半期生徒指導関係調査(長野県)」
 2 調査対象:県内全公立小・中・高等学校

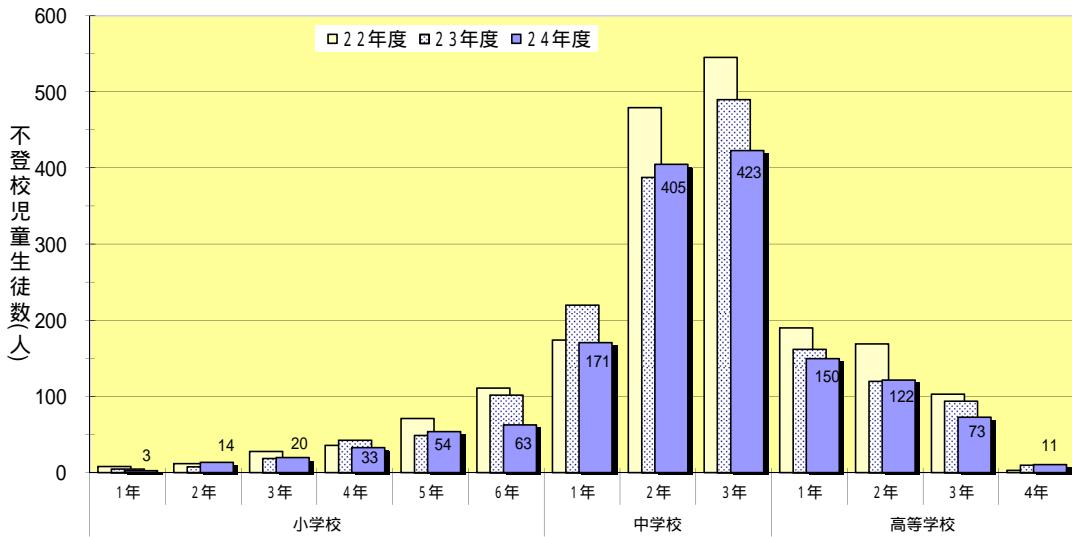
不登校児童生徒数は、小学校 187人、中学校999人、高等学校356人である。前年度と比較すると小学校・中学校・高校で人数・在籍比ともに減少。

(参考)年度集計

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
小学校	人数(人)	630	598	632	534	498
	在籍比(%)	0.49	0.47	0.50	0.42	0.40
中学校	人数(人)	2,061	2,166	2,091	1,922	1,757
	在籍比(%)	3.18	3.31	3.22	2.96	2.76
高校	人数(人)	800	755	669	664	732
	在籍比(%)	1.27	1.22	1.10	1.10	1.20

(注) 1 調査名:文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
 2 調査対象:県内全小・中・高等学校(国・私立を含む)

2 学年別不登校児童生徒数の推移



年度	校種	小学校						中学校			小中合計	高等学校				合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年		1年	2年	3年	4年	
24年度		3	14	20	33	54	63	171	405	423	1,186	150	122	73	11	356
23年度		5	8	19	43	49	102	220	388	490	1,324	162	120	94	10	386
22年度		8	12	28	36	71	111	174	479	545	1,464	190	169	103	3	465

小・中学校とも学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。校種ごとの学年別では、小6が63名、中3年が423名、高1が150名で最も多い。
高校は、学年が上がるにつれて減少する傾向が見られる。

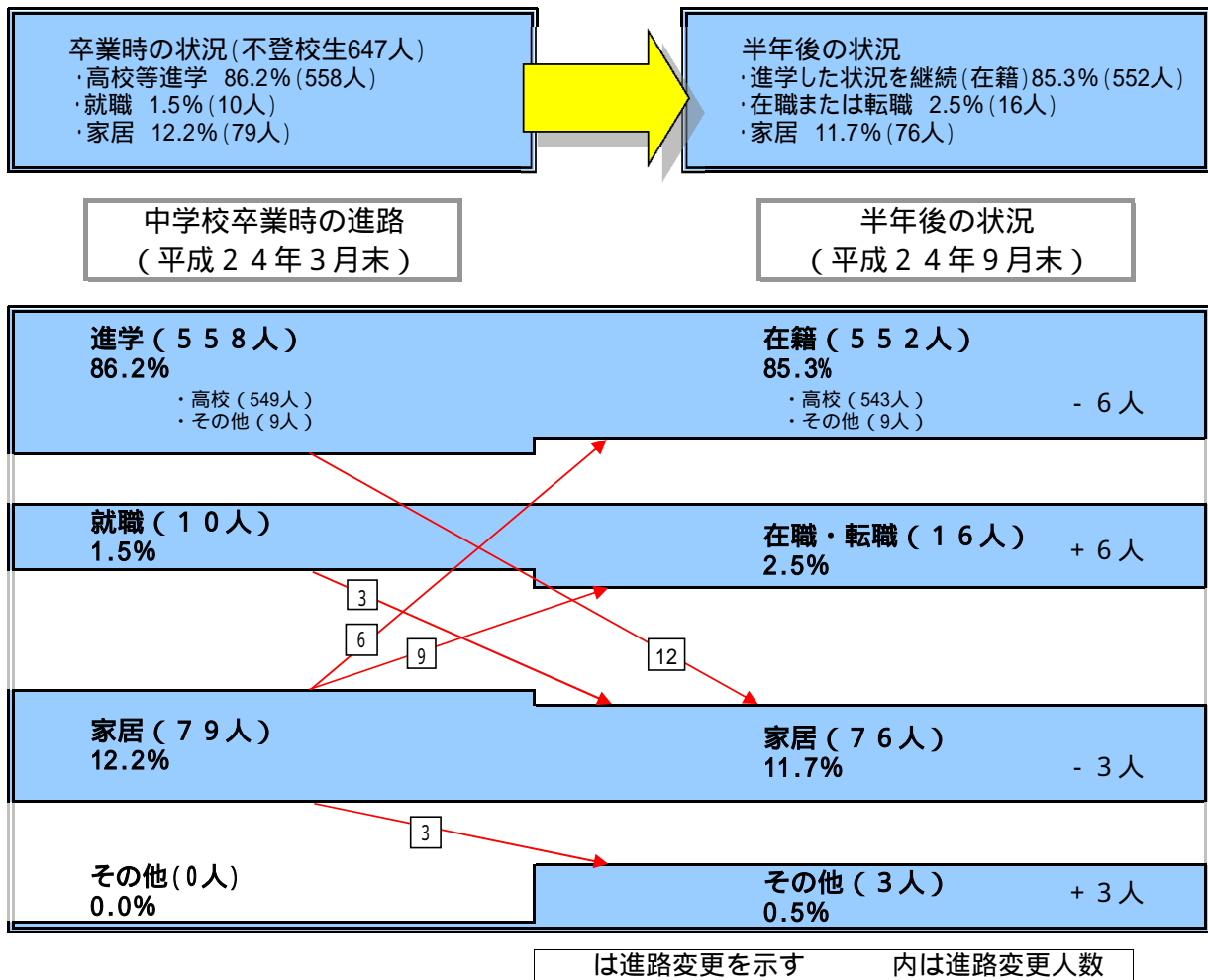
3 直接のきっかけ別人数 (複数回答)

区分		校種	小学校(割合)		中学校(割合)		高等学校(割合)	
学校生活	いじめ		4 (2.1)	90	19 (1.9)	504	1 (0.3)	189
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	24 (12.8)	175 (17.5)		77 (21.6)			
	教職員との関係をめぐる問題	10 (5.3)	22 (2.2)		4 (1.1)			
	学業の不振	29 (15.5)	179 (17.9)		40 (11.2)			
	進路にかかる不安	0 (0.0)	13 (1.3)		10 (2.8)			
	クラブ活動・部活動への不適応	2 (1.1)	28 (2.8)		7 (2.0)			
	学校のきまり等をめぐる問題	2 (1.1)	14 (1.4)		8 (2.2)			
	入学、転編入学、進級時の不適応	19 (10.2)	54 (5.4)		42 (11.8)			
家庭	家庭の生活環境の急激な変化	27 (14.4)	69	60 (6.0)	218	15 (4.2)	64	
	親子関係をめぐる問題	26 (13.9)	97 (9.7)	34 (9.6)				
	家庭内の不和	16 (8.6)	61 (6.1)	15 (4.2)				
本人	病気による欠席	22 (11.8)	166	87 (8.7)	851	28 (7.9)	257	
	あそび・非行	0 (0.0)		42 (4.2)		25 (7.0)		
	無気力	42 (22.5)		285 (28.5)		58 (16.3)		
	不安などの情緒的混乱	75 (40.1)		296 (29.6)		100 (28.1)		
	意図的な拒否	10 (5.3)		42 (4.2)		10 (2.8)		
	その他本人に関わる問題	17 (9.1)		99 (9.9)		36 (10.1)		
その他		19 (10.2)	13 (1.3)	15 (4.2)				
不明		1 (0.5)	33 (3.3)	12 (3.4)				

- (注) 1 調査名:「平成24年度上半期生徒指導関係調査(長野県)」
 2 調査対象:県内全公立小・中・高等学校
 3 割合(%)は、各区分における不登校児童生徒数に対する割合

小・中・高等学校いずれにおいても「不安などの情緒的混乱」が最も多い。小学校・中学校においては「無気力」、高等学校においては「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が次に多くなっている。

4 平成24年3月に中学校を卒業した不登校生徒の半年後の状況



- (注) 1 調査名:「平成24年度上半期生徒指導関係調査(長野県)」
 2 調査対象:県内全公立中学校

中学卒業時に不登校であった生徒647名の半年後の状況は、85.3%が高等学校等に在籍、2.5%が就職、11.7%が家居という状況である。

5 3月に中学校を卒業した不登校生徒の状況 (経年変化)

<単位(人)・(%)>

卒業時 不登校数	H17上半期	H18上半期	H19上半期	H20上半期	H21上半期	H22上半期	H23上半期	H24上半期	
		714	758	761	771	749	707	672	647
進学	人数	549	618	613	661	637	605	584	558
	構成比	76.9%	81.5%	80.6%	85.7%	85.0%	85.6%	86.9%	86.2%
就職	人数	32	21	29	20	14	13	11	10
	構成比	4.5%	2.8%	3.8%	2.6%	1.9%	1.8%	1.6%	1.5%
家居	人数	125	114	115	86	90	83	74	79
	構成比	17.5%	15.0%	15.1%	11.2%	12.0%	11.7%	11.0%	12.2%
その他	人数	8	5	4	4	8	6	3	0
	構成比	1.1%	0.7%	0.5%	0.5%	1.1%	0.9%	0.4%	0.0%

- (注) 調査名:「上半期生徒指導関係調査(長野県)」

6 課題と今後の対応

(1) 現状

平成24年度上半期不登校児童生徒は、前年度と比較すると小学校・中学校・高校で人数・在籍比ともに減少。

- ・ 不登校児童生徒数は、小・中学校とも学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。中1ギャップのみならず、中1から中2への進級時にも大幅に増加する。高校は、学年が上がるにつれて減少する傾向が見られる。
- ・ 直接のきっかけについては、小・中・高等学校いずれも「不安などの情緒的混乱」が最も多い。小学校・中学校においては「無気力」、高等学校においては「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が次に多くなっている。
- ・ 中学卒業時に不登校であった生徒の半年後の状況は、85.3%が高等学校等に在籍、2.5%が就職、11.7%が家居という状況である。

(2) 課題

不登校施策における県・市町村教育委員会の一層の連携と役割の明確化

県・市町村における児童生徒の不登校状況の多角的な分析

分析に基づいた不登校施策の重点化、総合的な施策の推進

(3) 今後の対応

県・市町村教育委員会が主体となった取組

- ・ 保健・福祉等の首長部局や医療等関係機関・地域との一層の連携
- ・ 「不登校児童生徒地域支援チーム」整備事業、「笑顔で登校」支援事業（下半期）
- ・ 全県研修会、地区推進会議の実施
- ・ 「不登校対策の行動指針（改訂版）」の周知・徹底 等
「新たな不登校」を出さないための取組
- ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子どもと親の相談員等の相談・支援体制の充実
- ・ 児童生徒理解に基づく不登校児童生徒の早期発見・早期対応
- ・ 人間関係を築く力の育成（学び合い、支え合う授業、学級集団づくり等）
「社会的自立」に向けた進路形成の取組
- ・ 幼保小中高の一層の連携
- ・ 中3不登校児童生徒の進路指導、学習支援